



委員会から報告します

各常任委員会では付託された議案について、市当局と議員の間で次の質疑が交わされました。

(なお、本文は各常任委員会委員長が執筆したものを編集し、掲載しております)

総務委員会

委員長
みたべつねあき
三田部恒明

審査案件
報告第2号
議案第1・2・
10・12・13・
16・25・26号
請願第5・6号

問 深谷大里看護専門学校^の存続に
関し、市のかかりは？

答 看護専門学校の認可権限は埼玉
県知事にあります。仮に経営破綻
した場合、貸し付けた財産を原
状に復して戻してもらうことにな
ります。

問 ペナルティーの有無は？

答 財産の原状回復としか取り決
めをしていません。地域にとって
必要であるとの認識であり、撤退
等の事態の発生は考えていません。

問 18年度決算認定後の確定繰越
金が12月議会の補正で速やかに反
映されるべきであり、3月議会で
行う理由は何か？監督権限は？

答 19年度補正予算の財源として
留保していたからです。歳入は歳
出と違い、予算を上回って収入で
き、19年度最後の補正で、すべて
の繰越金を計上し、財政調整基金
に積み立てたものです。市町村に
ついては県が監督し、指導の立場
にあり、個別の事業については会
計監査があり、直接国から指導が

あることもあります。

問 補助金・交付税減額の中
2・7%の予算規模拡大であり、
深谷市の予算は強い。合併の効果
か？

答 合併特例として地方交付税を
普通より多くいただいています。
歳出については職員数の適正化で
人件費が低く抑えられています。

問 特別会計への繰出金は減って
いるが今後の見通しは？

答 国保会計など扶助費系繰出金
については少子高齢化で増加して
いくと思われます。下水道など投
資的事業については財政力に見
合った長期的計画で過大な繰出金
にならないように
していきたい
します。



福祉文教委員会

委員長
かとうとしえ
加藤 利江

審査案件
議案第5・6・
7・11・16・25号

問 後期高齢者医療制度に移行し
ないと障害者医療費の支給がス
トップしてしまう人は何人いるの
か。また、この方々が加入してい
る現在の保険はどのようなものな
のか。

答 精神障害者手帳1級・2級
の方で44名、音声言語の身体障害
者4級の方が4名、下肢障害で
4級の方が14名、計62名が対象と
なっています。この方たちが加入
している保険は把握していません
が、全体の重度医療支給状況で
は、平成20年1月現在で、国民健
康保険の方が975名、社会保険
の方が651名、老人保健の方が
1719名、計3345名という
内訳になっています。

問 給食センター費で、岡部学校
給食センターを廃止して、花園学
校給食センターを改修する予算計
上がされているが、それに至った
経緯について聞きたい。

答 岡部学校給食センターは、昭
和57年建設で、老朽化が激しく、

現在、毎日3mほど漏水してい
ます。床についてもウェット式で、
衛生面でも問題があります。花園
学校給食センターは、平成7年建
設で、2500食が調理可能です。
統合した場合、2900食となる
ため、施設を改修し、備品購入等
行えば実施することが可能なため、
予算計上しました。

問 統合した場合のメリット、デ
メリットを聞きたい。

答 メリットとしては、業務の効
率化が図れ、経費の節減が図れま
す。また、衛生面においてより一
層の安心感が得られます。デメ
リットとしては、給食センターか
らの距離が遠くなる学校が出てき
ます。しか
し、これにつ
いては、配送
車を1台増車
し、機動性を
持たせて配送
していきま
す。



市民環境産業委員会

委員長
うたむらはるえ
宇多村春恵

審査案件
議案第3・4・
16・17・25・
26・27・28号
請願第7・8号

問 騒音・振動・悪臭の苦情対策
を聞きたい。

答 問題が発生したとき、係員が
測定器で調査し、基準を守るよう
改善計画を依頼し、実行をお願い
しております。

問 道の駅管理事業について予算
の内訳を聞きたい。

答 川本物産館は約853万円、
道の駅おかは322万1千円、
道の駅はなぞのは500万円、は
なぞの市民農園は481万9千円
です。

問 山の家運営事業はこの先何年
やっていくのか。

答 平成21年3月を目途に廃止す
る方向で進めております。市民の
保養施設の代替案などの検討をし
ております。

問 荒川中部土地改良区事業等補
助金の内容を聞きたい。

答 防災広域利水対策で2950
万円、幹線排水路維持管理費で8
82万円、環境保全対策で664
万円、償還金が640万円、しゅ

んせつ工事費用で約400万円
です。

請願第7号

問 日本経済を下支えする中小
企業は大変厳しい状況にあり、健
全な経営環境を取り戻すべく政府
に対して更なる中小企業底上げ対
策を講じていただきたい。本請願
は採択すべきものと考えます。

請願第8号

問 化石燃料の代替エネルギー
がイコール、バイオマスとは考え
にくい。クリーン燃料の開発が進
む中、これ一本に絞っていくのは
時期尚早と
思う。世相
の状況を見
ながら検討
したい。本
請願は継続
審査とすべ
きと考え
ます。



建設委員会

委員長
しばさき
柴崎 重雄

審査案件
報告第1号
議案第8・9・
14・15・16・18・19・
20・21・22・23・24・
25・29・30・31・32・
33・34・35・36号

問 市道路線の廃止について、市
民から依頼された路線もあるのか。
答 あります。廃止する路線は、
市道認定している路線が道路とし
て機能していないこと、なくても
日常生活に支障がないこと、現地
確認で道路としての形態がないも
のなどです。

問 通学路安全対策事業と道路照
明灯設置管理事業の区分けの基準
について聞きたい。

答 通学路安全対策事業は、通学
路に対して照明灯を設置するもの
で市内29校の学区ごとに各1基
設置し、残りの11基はPTAから
の要望を現地調査し、設置を予定
しています。道路照明灯設置管理
事業は、自治会からの要望により
設置するもので34基を予定してい
ます。各自治会からの要望は、そ
れぞれ自治会長と協議の上、設置
してまいります。

問 水道料金の統一時期と額につ
いて聞きたい。

答 平成20年度に水道事業運営審

議会へ諮問し、その答申を受けた
後、当年度中に議会に諮ります。
水道料金は、今後必要な事業費を
算定し、それを基に料金を検討い
たします。

問 原油等の高騰により建設費も
上昇すると思うが、老朽管更新事
業は、予定どおり実施できるのか。
また、事業見積もりは前年度を参
考にしているのか。

答 平成19年度当初予算では12
6kmを計上しましたが、平成20年
度は13・3kmを予定しています。
実施する際には、資材単価の見積
もりを聴取し、事業を実施してい
きます。



「議会あれこれ」付託してなあに?」...議会の議決に先立って、詳しく検討を加えるために議案や請願の内容により、その案件を担当する委員会に審査を委託する仕組み。